

高知県教育委員会 会議録

令和5年6月臨時委員会

場所：高知県立人権啓発センター

(1) 開会及び閉会に関する事項

開会 令和5年6月19日(月) 10:30

閉会 令和5年6月19日(月) 11:07

(2) 教育委員会出席者及び欠席者の氏名

出席者	教育長	長岡 幹泰
	教育委員	平田 健一
	教育委員	永野 隆史
	教育委員	町田 美紀
	教育委員	弥勒 美彦
欠席者	教育委員	森下 安子

(3) 高知県教育委員会会議規則第8条、第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	合田 和穂
〃	教育次長	竹崎 実
〃	教育次長	今城 純子
〃	教育政策課長	鈴木 智哉
〃	高等学校振興課長	野田 健一
〃	教育政策課課長補佐	森田 雄一
〃	教育政策課教育企画担当チーフ	大前 拓也 (会議録作成)
〃	教育政策課主査	菊池 真希 (会議録作成)

(4) 議事の概要及び教育長等の報告の要旨

【冒頭】

教育長 6月臨時委員会を開催する。

教育次長(総括) (提案説明)

【付議第1号 高知国際中学校・高等学校の校歌の取扱いに関する議案 (高等学校振興課)】

○高等学校振興課長 説明

○質疑

教育長	まず、校歌の取扱いに関して、説明のあったように2案を提示し、いずれかを選択して決定するという事務局案でよろしいか。賛成の委員は挙手をお願いする。
各委員	全員挙手
教育長	それでは、校歌の取扱いについては、2案から教育委員にいずれかを選択していただき決定することとする。在校生へのアンケート結果や高知南中学校・高等学校、高知西高等学校及び高知国際中学校・高等学校の学校

<p>永野委員</p>	<p>関係者からの意見を踏まえ、高知国際中学校・高等学校の校歌の取扱いについてどのように考えるか、それぞれのご意見をお願いしたい。</p> <p>高知南中学校・高等学校及び高知西高等学校の学校関係者の皆さまには令和5年2月16日にご意見をお伺いし、また、生徒の皆さんへのアンケートの後、6月13日には、高知国際中学校・高等学校の関係者の皆さまも加えた3者のご意見をお伺いした。</p> <p>まず、高知南中学校・高等学校及び高知西高等学校の学校関係者の皆さまからは、それぞれの学校設立の理念や教育内容の特色を土台として、本県ばかりか、社会全体に貢献できる人材を多く輩出していることについて、その実績と自負を感じとった。その意味合いからも、両校のアイデンティティを背景にした強く深い学校愛あふれるご意見を傾聴し、大変感銘を受け心打たれた。こうした貴重な時間をいただいたことに対し、各学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。</p> <p>その上で、私の意見を申し上げます。</p> <p>私は、(2)の「新しい校歌とする」案に賛成する。理由を以下二つ申し上げます。</p> <p>第一に、両校の統合が対等であるという原点を見つめたいと思う。皆さまのご意見、特に両校の学校関係者のご意見には、設立の時期からの時間軸としての歴史が背景にあり、設立当時の社会状況や立地場所なども考慮された設立理念のもとに練られたものが願いとなって、校訓や校歌に表現されていると考える。学校の歩みが単に長い短いでは推しはかれない学校文化の尊さが両校には分け隔てなく包含されていると思う。そのような意味合いからも、両校はどちらか一方を吸収したものでなく、不都合な割合で一緒になったわけでもない。あくまでも対等で公平な学校統合であるとの認識を私はしている。</p> <p>第二に、高知国際中学校・高等学校は県立学校としての使命に立脚するという点である。国際バカロレア教育を基軸とし、ここ高知の地にあっても、真にグローバルな社会において活躍できる人材を輩出するため、魅力ある学校を県民の財産として創り上げていく使命を持っているはずである。人口減を背景とし、社会基盤がますます脆弱化していくと予想される本県において、これまでの教育にはない新たな価値観も踏まえた教育プログラムを推進していくための責任ある学校であると思う。バカロレア教育の目指す姿はこれからの学校が強く意識しなくてはならない理念を持ち合わせている。バカロレア教育は、目指す学習者像として、1の探究する人から始まり、9のバランスのとれた人、10の振り返りができる人まで、10の姿を設定している。そして、高知国際中学校・高等学校の目指す生徒像は、地球を生きる市民感覚のある生徒と表現し、具体的に、異なる価値観の文化を尊重し、協働できる生徒と掲げられている。高知国際中学校・高等学校は、高知南中学校・高等学校、高知西高等学校のアイデンティティである進取と貫徹をしっかりと受け継いだものと思う。高知国際中学校・高等学校は、この学習者像を具体的に教育プログラムにおいて県内で実践し</p>
-------------	---

	<p>ていくために、新たな挑戦をしていく学校だと考える。</p> <p>このような考えに立ち、学校のこれからの姿と、そこで学び育ちゆく生徒たちへのエールとして、校歌を新たにつくっていただきたいと願う。今後、校歌をつくる過程において、生徒たちが主体的に言葉を紡ぐ中で、両校が大切にしてきた言葉が自然と湧き出てくるような場面もあることも願っている。どうか、高知国際中学校・高等学校の関係者も含めた3者が協力・協働してつくり上げていって欲しいという思いである。</p> <p>最後に、学校にはそれぞれ、その歴史を基盤とした営みがあり、学校文化の形成がある。そのなかで、両校の卒業生は長く長く大切にされていくという思いである。そのうえで、県民の財産としての学びの場として、絶えず時代にあった学びを創造していただきたいと思う。</p> <p>(2)の案に賛成する立場で意見を申し上げた。</p>
平田委員	<p>本日の付議議案については、昨年度ごろから事務局より情報提供いただいていた。それぞれの学校関係者のご意見や思いが一つにまとめられないときに、どのように考え、どのように整理しようかということを中心に考えてきた。私の考え方として、高知国際中学校・高等学校の目指す教育目標や教育内容などから、学校を選択し、誇りを持って学ぶ生徒の皆さんがこの問題をどのように考えているのか、また、高知国際中学校・高等学校の関係者の皆さんがこの問題に対してどのような思いを持っているのかを知ったうえで判断したいと考え、本日を迎えた。</p>
	<p>先日のご意見をお聴きする会での3校の学校関係者のご意見は、いずれもこれからの高知国際中学校・高等学校を思っている内容だと重く受け止めている。高知国際中学校・高等学校の現在の在校生へのアンケート結果や、自由記述で記された生徒の皆さんの新しい学校としての校歌への思い、そして、6月13日のご意見をお聴きする会での高知国際中学校・高等学校関係者の新しい時代、新しい教育内容、新たな学校文化を創造すべきという熱い思い、あわせて、高知南中学校・高等学校関係者の校歌に関するお考えを聞き、総合的に、本日の判断に至った。</p> <p>結論として、高知国際中学校・高等学校は、我が国でも数少ない国際バカロレア認定校として、新しい校歌、校風のもと、学校が一丸となって、世界の未来を担う人材を育成することを願い、私は(2)の「新しい校歌とする」を選択する。</p>
町田委員	<p>学校関係者のそれぞれの皆さんの思いをお聞きし、それぞれの立場に立って考えると、もっともな意見がたくさんあり、すごく感銘を受けた。</p> <p>私の意見としては、生徒たちの未来への期待といった言葉をたくさん拝見し、(2)の「新しい校歌とする」を選びたいと思う。</p> <p>統合に関しては公平であるといったところと、未来に向けての新しい一歩を応援したいという気持ちで選んだ。</p>
弥勒委員	<p>これまで足かけ6年のあいだ、両校の関係者の皆さんが非常に真剣に意</p>

	<p>見を交換し合ってきたことに対して、心から敬意をあらわしたいと思う。この懸案に結論を出すために行われたのが、最新のアンケートだと思う。どちらでも良いという回答は中立ということであるから、わずか1票差とはいえ新しい校歌が良いという回答が上回ったこのアンケートの結果を尊重するというのであれば、新しい校歌が良いということが生徒の皆さんの総意であると判断する必要があると思う。</p> <p>あとは、国際バカロレア教育という新たな理念に基づいて新しい学校がスタートしているわけであり、その理念を尊重あるいは反映した形での校歌をつくったうえで、この新たな教育プログラムを強力に推進するということが多くの皆さんが望んでいることではないかと思うので、私は「新しい校歌とする」という（2）の案に賛成する。</p>
教育長	<p>教育委員の皆さんの高知国際中学校・高等学校の校歌の取扱いに対する最終的な意見をお伺いする。</p> <p>（1）の「現在の校歌を引き続き校歌とする」案に賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>全員挙手せず</p>
教育長	<p>（2）の「新しい校歌とする」案に賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>全員挙手</p>
教育長	<p>（2）の案に全員賛成であったため、高知国際中学校・高等学校の校歌は「新しい校歌とする」ということについて、教育委員会の決定としてよろしいか、賛成する委員は挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>全員挙手</p>
教育長	<p>付議第1号について、高知国際中学校・高等学校の校歌の取扱いについては「新しい校歌とする」ことで決定する。</p>

（5）議決事項

付議第1号

新しい校歌とする